

快テレ君 VS-N300


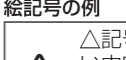




ワイヤレスネックスピーカー 取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を最後までよくお読みのうえ「安全上のご注意」に従い正しくご使用ください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この「安全上のご注意」、「使用上のご注意」および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。	 注意 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 警告 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。	 禁止 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。
 注意 この表示の欄は「人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。	 禁止 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。

絵記号の例
△記号は注意（警告を含む）しなければならぬ内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
○記号は禁止（やめてはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

危険

- スピーカー（受信機）は充電式電池を内蔵しています
●火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
●電子レンジや電磁調理器などで加熱しない
●強い衝撃をあてない

- 必ず付属のACアダプターを使って充電する
●付属以外のACアダプターで充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

- 異常があったときは、電源プラグを抜く
●内部に金属や水などの液体が入ったとき
●落下などで本体（外装ケース）が破損したとき
●煙や異臭、異音が出たとき
●ACアダプターが破損・変形しているとき
●本体に触れビビリと電気を感ずるとき
●手で触れられないほど熱いとき
●そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 本機の上に植木鉢、液体入りの容器や小さな金属物を置かない
●こぼれたり、中に入ったときに火災・感電の原因になります。

- 風呂場やシャワー室では使用しない
●火災・感電の原因になります。

- ACアダプターやスピーカー、送信機は布や布団で覆ったり、つつんだり、ホットカーペットなどの上やたつの中で使用しない
●熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となります。
●風通しのいい状態で使用してください。

- この機器は、日本国内のみで使用する
●海外では、国によって電波の使用の制限があるため、本機を使用すると、その国の法律で罰せられることがあります。

- 付属以外のACアダプターは使用しない
●機器本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多い場所に置かない
●電気が油や水分、ほこりに沾り、火災・感電の原因となることがあります。

- 不安定な場所に置かない
●高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置いて倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因となることがあります。

- 電源を入れるときは徐々に音量を上げる
●電源を入れたときに、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いや、交流100V以外での使用はしない
●タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となることがあります。
●船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。

- ACアダプターが破損するようなことをしない
（傷つける、加工する、無理に曲げる、熱器具に近づける、加熱する、ねじる、引っ張る、束ねる、重い物を載せるなど）
●傷んだままの使用は、火災・感電の原因となることがあります。

- ACアダプター本体に電源コードをグルグル巻き付けて使用しない
●異常発熱により、火災・感電の原因となることがあります。

- 本機（ACアダプター含む）を乱暴に扱わない
●落としたり、強い衝撃を与えたと、機器が壊れ、けがや火災・感電の原因となることがあります。

- ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む
●差し込みが不完全ですと感電や発熱により、火災の原因となることがあります。
●傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

- ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる
●プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着していると、火災・感電の原因となることがあります。
●定期的にACアダプターを抜き、乾いた布などで拭いてください。

- 異常に温度が高くなる場所に置かない
●外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たった場所、ストーブの近くでは特にご注意ください。

- 本機を使用するときは、音量をあげすぎない
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

- 本機に水を入れたり、濡らさない
●火災・感電の原因となることがあります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

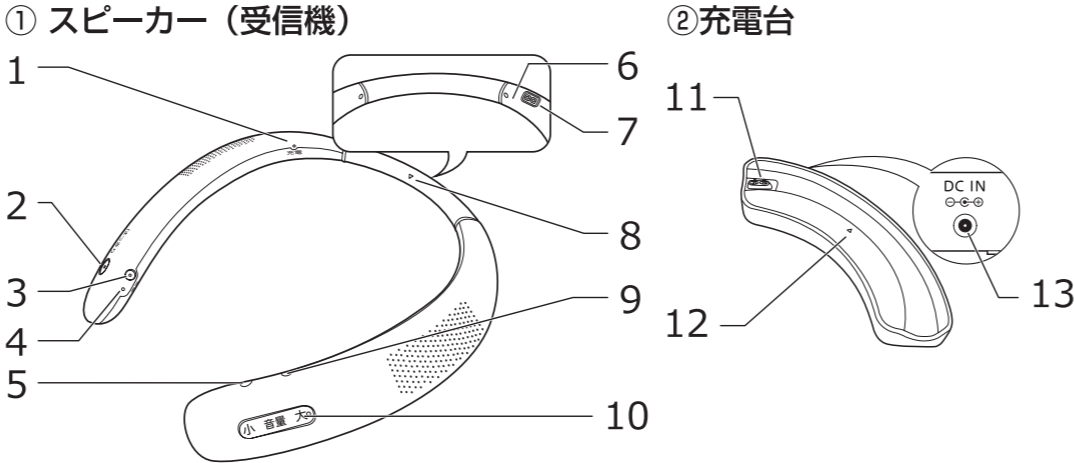
- 分解・改造しない
●内部には電源の高い部品があり、火災・感電の原因となることがあります。
●内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

- 長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く
●火災・感電の原因となることがあります。

- 雷が鳴りだしたら、本機やコード類に触れない
●感電の原因となることがあります。

- 次のような場所や条件で使用しない
●病院内などの使用を禁止された場所
●医用電気機器に近い場所（手術室・集中治療室・CCU※など）
※CCU：冠動脈疾患患者監視病室
●自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
●心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内の位置
本機からの電波により誤動作、事故などの原因となる恐れがあります。

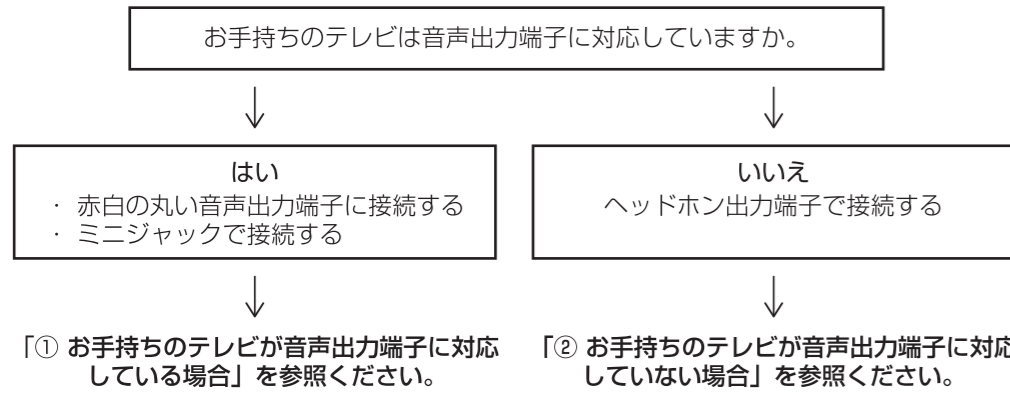
各部の名称とはたらき



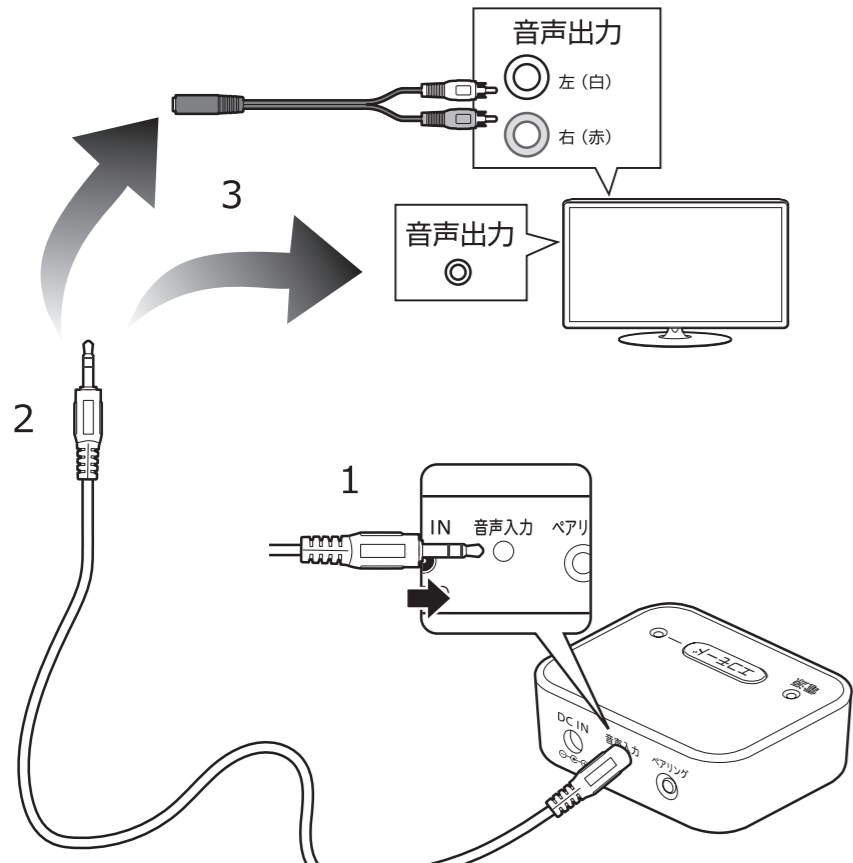
(→ 1 ページ目からの続きです)

テレビと接続する

送信機をテレビの音声出力端子に接続します。テレビがどの出力端子に対応しているかどうかは、テレビの取扱説明書などをご確認ください。

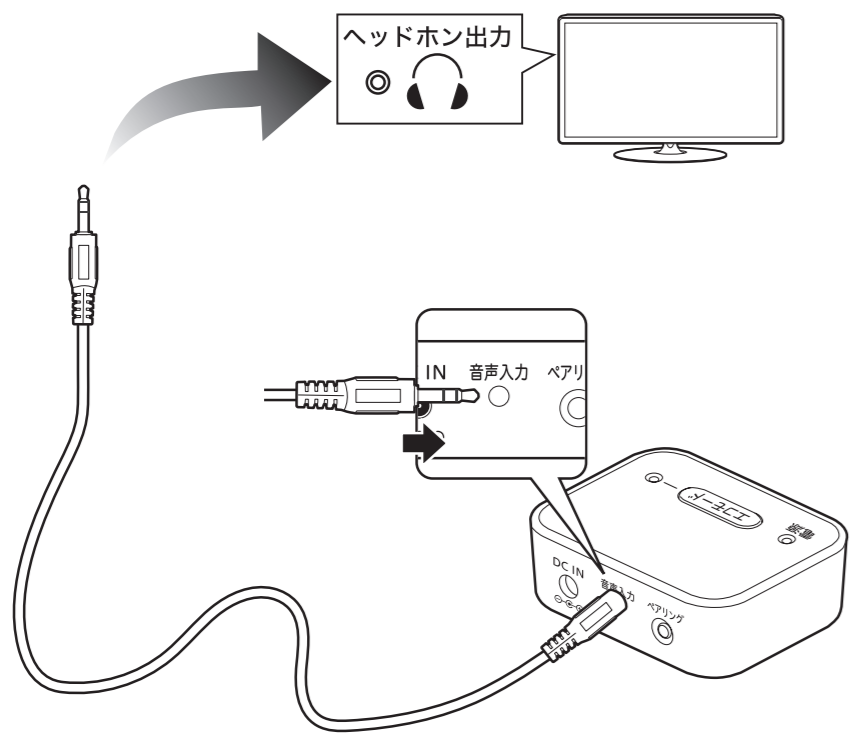


① お手持ちのテレビが音声出力端子に対応している場合



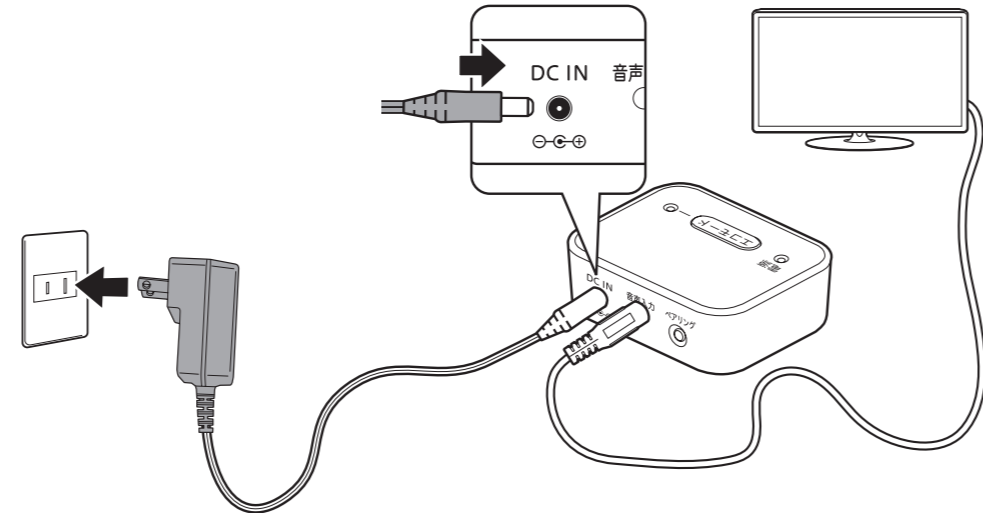
- 付属の接続コード（オーディオケーブル）を送信機の音声入力端子に接続します。
- 接続コード（オーディオケーブル）の反対側を付属の変換コードに接続します。
 - お手持ちのテレビに赤白の音声出力端子がない場合は、変換コードを使用せずにテレビのミニジャック出力端子に接続コードを接続してください。
- テレビの赤白の音声出力端子に接続します。
 - テレビによって、端子名称は「音声出力」、「モニター出力」、「OUTPUT」など異なります。
 - テレビには同じ形をした入力端子もありますので、間違えないように表示をよくご確認ください。
 - テレビ側で設定をしないと音声を出力できない場合がありますので、テレビの取扱説明書をご確認ください。

② お手持ちのテレビが音声出力端子に対応していない場合



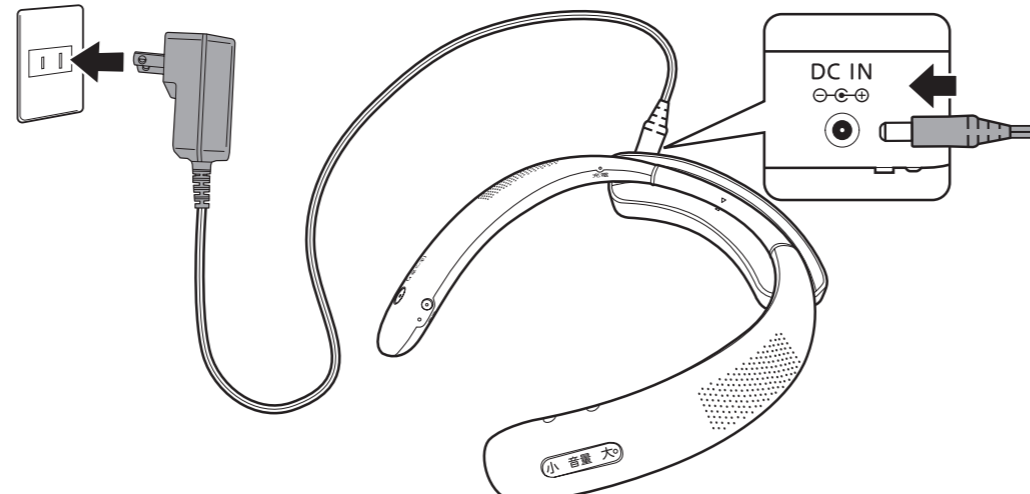
- 付属の接続コード（オーディオケーブル）を送信機の音声入力端子に接続します。
- 接続コード（オーディオケーブル）の反対側をヘッドホン出力端子に接続します。
 - 音声出力が小さい場合は固定ゲイン大モードに設定してお使いください。詳しくは「音声入力信号に合わせたゲイン（利得）設定に切り換える」の項目をご確認ください。
 - テレビによっては、テレビからは音声が出せなかったり、テレビ側で設定を変更しないと音声を出力できない場合があります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

送信機の電源を接続する



送信機とテレビの接続が完了したら、送信機に付属のACアダプターを接続してください。ACアダプターは送信機のDC IN端子に接続したあとで、コンセントに接続してください。ACアダプターを抜くときは先にコンセントから抜いてください。

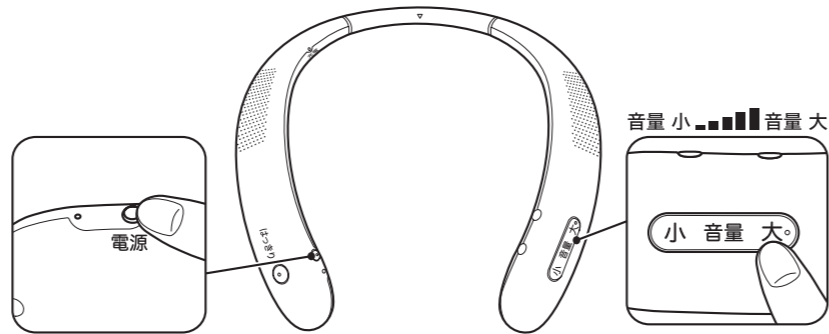
スピーカー（受信機）を充電する



スピーカー（受信機）を初めてお使いになるときは、最初に付属のACアダプターと充電台で内蔵バッテリーを充電してください。付属のACアダプターと充電台以外では充電しないでください。

- 付属のACアダプターのケーブルを充電台のDC IN端子に接続します。
- ACアダプターを電源コンセントに接続します。
- スピーカー（受信機）の設置マークと充電台の設置マークの位置を合わせてセットします。スピーカー（受信機）の充電ランプが赤色で点灯します。充電には最大約6時間かかります。充電が完了すると充電ランプが青色に点灯します。
 - 長期間使用しないときでも、内蔵充電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなる恐れがあります。
 - 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（5～35℃）で充電してください。

本機の使いかた



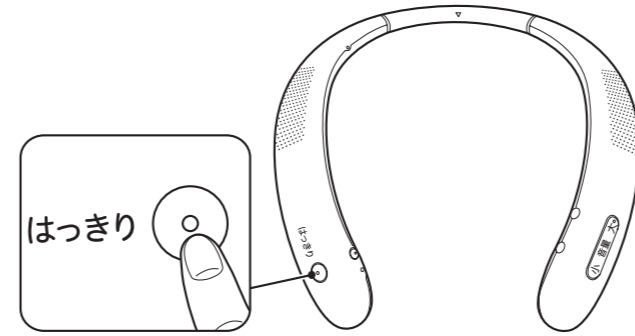
- テレビの電源を入れます。
- スピーカー（受信機）の電源ボタンを長押しします。「電源が入りました」のアナウンスが流れ、電源がオンになり、電源ランプが青色で点滅します。
 - 送信機と接続できない場合、電源ランプが点滅します。
 - 電源がオンする際、はっきりランプが一度点滅します。
- スピーカー（受信機）からテレビの音声が聞こえるか確認します。音量が大きいまたは小さい場合は、スピーカー（受信機）のボリュームボタンで調整してください。
 - 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる恐れがありますので、ボリュームボタンは小から徐々に大きくしてください。
 - ボリュームは0～15の16段階で設定することができます。本機の出荷時はボリューム8に設定されています。
 - スピーカー（受信機）は満充電の場合、最大約7時間の連続再生が可能です。
- 使い終わったら、スピーカー（受信機）の電源ボタンを押しします。「電源を切ります」のアナウンスが流れ、電源がオフになり、電源ランプが消灯します。
 - 10分間テレビから音声入力信号がない場合、本機の電源は自動でオフになります。

快テレ君とテレビの両方から音声を出す方法

「スピーカー出力切替」など、テレビ側の音声をON/OFFできるテレビでは、快テレ君とテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。

- テレビに付属のリモコンを使用して設定してください。
- テレビの機種によって、テレビから音声が出せない製品があります。
- 設定方法が分からない場合は、ご使用のテレビメーカーに「ヘッドホンとテレビのスピーカーから同時に音を出す方法」をお問い合わせください。
- 音声出力が小さい場合は固定ゲイン大モードに設定してお使いください。

はっきり音機能



テレビで流れているセリフを聞き取りやすく補正します。はっきり音機能は、出荷時はオンになっています。はっきり音機能がオンになっているときは、はっきりランプが橙色で点滅します。スピーカー（受信機）のはっきりボタンを押すと機能をオフにできます。

音声入力信号に合わせたゲイン（利得）設定への切換え

テレビからの音声信号は、接続端子や音源によって信号の大きさが異なります。音声入力信号の大きさに合わせてゲイン（利得）設定を切り換えることができます。出荷時は自動ゲインモードに設定されています。

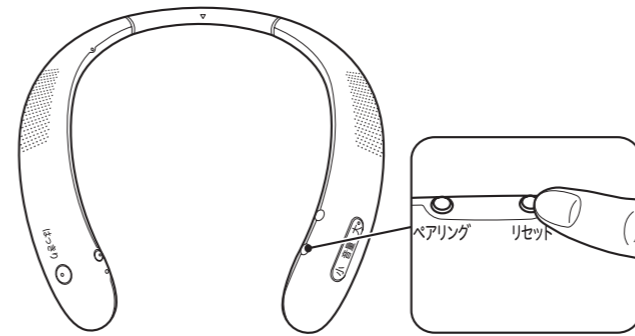
<設定モード>

- 自動ゲインモード：
音声入力信号に応じて、一定の信号の大きさに自動で利得調節します。
- 固定ゲイン小モード：
音声入力信号の利得を固定値に抑制することができます。DVD等のメディアを再生したときなど、音声入力信号が大きくスピーカーユニット(受信機)の音が歪むまたはフワフワするときにご使用ください。
- 固定ゲイン大モード：
音声入力信号の利得を固定値に増幅することができます。ヘッドホン出力端子に接続したときなど、音声入力信号が小さくスピーカーユニット(受信機)の音量を大きくしても十分な大きさにならないときにご使用ください。
 - 音声信号とともにノイズも増幅されて大きく聞こえることがあります。ノイズが気になる場合は、エコモードをオンにするとノイズを低減できます。
 - エコモードをオンにすると無線到達範囲が狭くなります。

<操作手順>

- 送信機のペアリングボタンを押しながら、送信機のACアダプターをコンセントに接続します。ゲイン（利得）設定の選択モードになります。
- 送信機のペアリングボタンを押します。ペアリングボタンを押すたびに、以下の順にモードが切り換わります。
 - 自動ゲインモード（エコモードランプが消灯） ←
 - 固定ゲイン小モード（エコモードランプが点灯）
 - 固定ゲイン大モード（エコモードランプがゆっくり点滅）
- モードを選んだら、エコモードボタンを押します。選択モードが終了します。
 - 操作をしない状態が1分間経っても、選択モードは自動で終了します。

スピーカー（受信機）の再起動



スピーカー（受信機）の動作が不安定な場合などに、リセットボタンを押すことでスピーカー（受信機）の状態をリセットできます。スピーカー（受信機）のリセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に電源ボタンを押すと、スピーカー（受信機）が再起動します。

送信機とスピーカー（受信機）をペアリングする

本機は購入時、ペアリングされた状態で出荷されていますが、通信が不安定な場合などは、一度ペアリングの解除を行い、再度ペアリングしてください。また、本機(VS-N300)を追加でご購入された場合には、すでに使用されている送信機に追加でペアリングが可能です。追加する際は、必ず送信機とのペアリングを一度解除してから、ペアリングを行ってください。最大10台まで同時に接続、使用することが可能です。

ペアリングを解除する

再ペアリングを行ってもペアリングに失敗する場合は、以下の手順で一度ペアリングを解除してください。その上で、再度ペアリングを行ってください。

- 送信機とスピーカー（受信機）の電源をオンにします。
- 送信機のペアリングボタンを約2秒間長押しします。電源ランプが早く点滅します。
- エコモードボタンを約2秒間長押しします。電源ランプとエコモードランプが点灯します。
- 送信機のペアリングボタンを押します。電源ランプが消灯し、エコモードランプが早く点滅すると、ペアリングが解除されます。

ペアリングを行う

送信機とスピーカーユニット（受信機）の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

- 送信機のペアリングボタンを約2秒間長押しします。
 - ※約2分間経つとペアリングモードは自動で解除されます。
- スピーカー（受信機）のペアリングボタンを約2秒間長押しします。
- ペアリングに成功すると、送信機の電源ランプは早い点滅から点灯に切り換わり、スピーカー（受信機）の電源ランプは早い点滅からゆっくりと点滅します。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。お使いの接続機器も合わせてお調べください。次の項目に当たって、再度点検しても直らない場合は、お買い求めの販売店またはお問い合わせ窓口にご相談ください。

症状	処置
スピーカー（受信機）の電源が入らない	● スピーカー（受信機）のバッテリーを充電する。
音が出ない	● テレビ、付属のACアダプターが送信機と正しく接続されているかを確認する。 ● テレビの電源を入れて、テレビスピーカーから音声が聞こえるかを確認する。 ● スピーカー（受信機）と送信機両方の電源がはいつているか確認する。 ● スピーカー（受信機）の電源を入れても電源ランプが点灯しない場合は充電する。 ● 送信機の電源ランプが点灯しているか確認する。消灯している場合、ACアダプターが接続されているか確認する。 ● テレビまたはスピーカー受信機 の音量を上げる。音量を上げても音声が聞こえないときは、音量を下げてから他の項目を確認する。 ※音量を上げたまま音を出すと、耳を傷めるおそれがあります。 ● 送信機の位置を変更する。 ● 送信機の近くにスピーカー（受信機）を設置して使用する。 ※上記の処置を行っても音が出ない場合は、再度ペアリングを行ってください。
音がとぎれる ノイズが聞こえる	● テレビと送信機が正しく接続されているか確認する。 ● 送信機のエコモードがオン（ランプ点灯または点滅）になっていないか確認する。 ● エコモードがオンになっている場合はオフにする。 ● 送信機とスピーカー（受信機）の間に障害物を置いていないか確認する。障害物がある場合、障害物のない状態で使用する。 ● スピーカー（受信機）のバッテリーを充電する。
「ジー」というノイズが聞こえる	● 送信機のゲイン（利得）設定が固定ゲイン大モードに設定されていないか確認する。 ● 送信機のエコモードがオフになっていないか確認する。ゲイン（利得）設定が固定ゲイン大モードに設定されていると、ノイズも大きくなる場合があります。この場合、エコモードをオンにするとノイズが低減できます。
CS デジタル放送（特定チャンネル）の画像が乱れる	● CSデジタル放送のアンテナ伝送路（分波器、分配器、接続ケーブル）のシールドが不十分な場合、本機の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路に混入して、CSデジタル放送の画像が乱れる原因になることがあります。シールド性の高い衛星放送対応の分波器や分配器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

仕様

■送受信システム

通信方式 TDD/TDMA
使用周波数 1 895.616 MHz ~ 1 904.256 MHzの帯域
最大到達距離 約100 m

■スピーカー（受信機）

使用スピーカー インピーダンス8Ω
内蔵電池 DC 3.7 V (770 mAh) リチウムイオン電池
連続再生時間 最大約7時間
充電時間 最大約6時間
寸法（幅×高さ×奥行） 約 186 mm × 30 mm × 180 mm
質量 約 120 g
使用温度範囲 5℃～35℃

■充電台

電源入力 DC 5 V 2 000 mA（付属のACアダプターを使用）
待機時消費電力 約 1.1 W（受信機充電中）
寸法（幅×高さ×奥行） 約 161 mm × 21 mm × 59 mm
質量 約 130 g
使用温度範囲 5℃～35℃

■送信機

音声入力 φ3.5 mm ステレオミニジャック
電源入力 DC 5 V 2 000 mA（付属のACアダプターを使用）
寸法（幅×高さ×奥行） 約 65 mm × 23 mm × 52 mm
質量 約 40 g
使用温度範囲 5℃～35℃